

防災だより

第 16 号

小田急金森泉自治会 自主防災隊

2021 年 7 月 7 日発行

7 月役員会で「地域特性と大地震発生時の班長の役割」をテーマに勉強会を行いました。この内容は、会員の皆さんにも大いに関係があり、今、あなたが「知っておくべきこと」や「備えておくべきこと」などをお伝えします。

私たちの“まち”？ 被害？ あなたの備え？

1. 私たちの“まち”と“住む人”とは？

- ・大地震時では、間違いなく家は大きく揺れる
- ・洪水や土砂災害の危険地域ではないが、強風を受ける地形
- ・高い石積みは維持管理が必要で、坂道は移動や運搬が大変
- ・広めの道路と宅地に利点あり
- ・人口約 1000 名で主に勤め人、高齢者多めだが若い世代も増えてきた
- ・平日昼は手薄、遠方通勤通学者すぐ戻らない（帰宅困難者対策でその地に留まる）
- ・半日は夜で停電なら暗闇、夏は暑く、冬は氷点下になる日がある

⇒ 以上を踏まえた適切な備えをしよう！

2. 当地で想定される大地震とは？

- ・震源が町田市に近い場合には、震度 6 弱～6 強が予想され、3.11 関東東北大地震時（東日本大震災）よりも激しく揺れる！
- ・30 年以内に 70%の確率で発生、**今、起きてもおかしくない！**
- ・当地域でも家屋倒壊が発生し、人的被害が十分予想される！

3. 震度 5 強以上で、自動的に行動開始がルール！

- ・当自治会ルール ⇒ 大地震発生時の行動マニュアル・震度 5 強以上（HP にも）
- ・10 年前の 3.11 当地の震度は 5 弱 ⇒ 5 強は一段上だが格段に強い揺れ！
- ・大地震発生したら、まず“命を守る行動”（自分・家族・近隣・地域）！
- ・**出来る人がやる** ⇒ 班長をはじめ、予め役割を決めた人がいるとは限らない！
- ・自治会内、周辺地域も含め安全確保ができるまで、各種の減災活動を行う！
- ・家族で行動マニュアルに目を通し、避難方法や安否確認の方法を確認する機会を、持ちましょう！（自治会ホームページにも掲載しています）

